

2019年度 熊本ベルエベル美容専門学校 メイク・エステ・ネイル科 カリキュラム

※募集停止中の為、現在2年生のみ在学。現2年生用シラバス。

科目		1年次	2年次	1年2年計	実務経験者が 行う授業		
必修科目	メイク	メイク理論	9	0	9	○	
		化粧品知識	15	18	33	○	
		メイク技術	195	183	378	○	
		ヘア基礎	30	0	30	○	
		計	249	201	450	-	
	エステ	エステ理論	120	66	186	○	
		フェイシャル	69	78	147	○	
		ボディ	109	74	183	○	
		アロマ	0	28	28	○	
		ヘッドマッサージ	0	24	24	○	
	計	298	270	568	-		
	ネイル	ネイル理論	6	3	9	○	
		ケアカラー	174	0	174	○	
		ジェル	0	136	136	○	
		フット	15	0	15	○	
		スカルプチュア	0	27	27	○	
		アート	30	30	60	○	
	計	225	196	421	-		
	実践(サロン実習)		55	225	280	×	
	選択科目	HR		232	243	475	×
		マナー		34	40	74	×
就職		71	13	84	×		
選択		1年生研修	30	0	30	×	
合計		1194	1188	2382			

基本情報			
講義名	メイク(メイク理論)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	9	0	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
美容部員・メイクアップアーティスト・美容師	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、百貨店・メイク専門店・美容室・ブライダルサロン等にて、美容部員・メイクアップアーティスト・美容師等のメイクに関する実務経験が3年以上あるものが当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	化粧品についての知識、皮膚の構造、スキンケア理論の授業を実技授業との連動性を持たせより実践的な授業を実施する。技術力の向上、就職後の接客技術、カウンセリング技術にも応用できる授業を行う。
授業の到達目標	メイク技術及び接客技術の実践で活かせる、化粧品・メイク理論・皮膚、骨格・色に関する正確な知識及びメイクアップデザイン理論を学び習得することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
スキンケア 皮膚科学	2	化粧品の定義、スキンケアの必要性、顔の骨格、筋肉について 皮膚の構造と働き
肌のタイプと スキンケア	1	3ステップによるスキンケアシステム、肌のタイプとスキンケア方法
顔分析	4	ゴールデンプロポーションに基づいた顔分析、骨格の陰影について
確認テスト	1	スキンケアの必要性、皮膚科学、顔分析
復習	1	総復習

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	メイク(化粧品知識)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	15	18	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
美容部員・メイクアップアーティスト・美容師	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、百貨店・メイク専門店・美容室・ブライダルサロン等にて、美容部員・メイクアップアーティスト・美容師等のメイクに関する実務経験が3年以上あるものが当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	化粧品に関する成分・効果・使用方法やアレルギー・化粧品トラブルに関する知識や歴史等基礎的な知識を熟知するだけでなく、授業の中でその知識を接客で活かせるカウンセリング技術に応用するまでが授業内容となっている。
授業の到達目標	化粧品の知識、販売方法アレルギーへの対応、カウンセリングに関する知識をメイクアップ技術、カウンセリング技術に応用できるレベルへの到達を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
化粧品知識・成分	15	基礎化粧品の役割と分類 洗淨用化粧品・クレンジング用化粧品の役割と特徴 洗顔用化粧品の役割と種類 整肌化粧品・化粧水の役割と分類 乳液、クリーム of 役割と主成分 特別ケア化粧品・美容液の役割と主成分 保湿クリームの役割 アイクリームの必要性 マッサージクリームとパック剤の役割と主成分 紫外線とSPF、PA表示 肌質の分類と考え方・普通肌の特徴と適した化粧品 乾燥肌の特徴と適した化粧品・脂性肌の特徴と適した化粧品 乾燥性脂性肌の特徴と適した化粧品・ニキビとは、ニキビに適した化粧品 シミとは、シミに適した化粧品・老化肌とは、老化肌に適した化粧品 メイクアップ化粧品の役割と分類 ファンデーション類の役割と種類 口紅の役割と種類 アイメイクアップ化粧品の役割と種類・頬紅の役割と種類
年代別化粧品知識	12	ニーズの引き出し方法(視診、触診オープン・クローズ、サポートクエスション、実践) 肌タイプ別カウンセリング、肌タイプ別のアドバイス、実践 要望に合わせたメイク商品、メイクアップの提案 クロージング、ホームケアの提案 確認テスト 相モデルになりカウンセリングトレーニングの実施
化粧品トラブル	6	化粧品によるトラブル、アレルギーについて 化粧品による炎症 化粧品による症状や対処法について 炎症の原因となりやすい成分 確認テスト 復習

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	メイク(メイク技術)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	195	183	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
美容部員・メイクアップアーティスト・美容師	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、百貨店・メイク専門店・美容室・ブライダルサロン等にて、美容部員・メイクアップアーティスト・美容師等のメイクに関する実務経験が3年以上あるものが当該授業を実施する。
授業内容	
授業概要	メイクに関する一連の技術(スキンケア、クレンジング、メイクアップ)を学ぶ。一般的な基礎技術はもちろんのこと、世代別のメイク、TPOに合わせたメイク技術、舞台メイク等を学ぶ機会を与え、メイクに対する興味を深めそのことにより技術の幅を広げる授業を実施する。
授業の到達目標	スキンケア、クレンジング、ベース～ポイントメイクの習得や、お客様一人一人にあったメイク、それぞれのシーンにあったメイクの提案をしそれを具現化できるところまで完結できる、より実践的な技術レベルへの到達を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
セッティング	3	技術者としての心得を理解し、意識付けさせる(姿勢、身だしなみ) 化粧品の名称、用途、特徴と取り扱い方 基本セッティングのレクチャー 相モデルにてケープ、ダッカードの止め方、立ち位置、姿勢 リップ、アイメイクオフ、のテクニック展示(手技、手順、注意点の説明)
クレンジング	13	ベースクレンジングテクニック展示(手技、手順、注意点の説明) 乳化・ふき取りのテクニック展示(手技、手順、注意点の説明) 化粧水テクニック、乳液テクニック(手技、手順、注意点の説明) ポイントクレンジング～乳液テクニックまで通しレッスン
メイクアップテクニック	69	メイクアップの役割と特徴について アンダーベーステクニック展示(手技、手順、注意点の説明)、相モデルレッスン ファンデーションテクニック展示(手技、手順、注意点の説明)、相モデルレッスン パウダーテクニック展示(手技、手順、注意点の説明)、相モデルレッスン ポイントクレンジング～ベースメイクまで通しレッスン ポイントクレンジング～ベースメイクまで通しレッスン(タイム取り) ノーズシャドー、アイシャドー、ハイライト、シェーディングの正確な位置の理解 ハードフォーミュラーの削り方、説明、テクニックの展示、削りのレッスン アイブロー基本的プロポーシヨンの理解 アイブローペンシル持ち方、描き方の説明、テクニックの展示、相モデルレッスン アイシャドー手順、テクニックの説明、展示、相モデルレッスン アイライン手順、テクニックの説明、展示、相モデルレッスン ビューラー・マスカラ手順、テクニックの説明、展示、相モデルレッスン アイメイク 相モデルレッスン リップブラシの持ち方、リップの形、手順、テクニックの説明、展示 リップライナーの使い方、相モデルレッスン チークメイクアップ(入れる場所の理解、ブラシの持ち方、描き方説明)手順、テクニックの展示、相モデルレッスン タイムトライ相モデルレッスン 苦手箇所最終トレーニング 確認テスト
イメージメイク マニッシュ	24	「マニッシュ」形とイメージ、テクニックの展示説明 「マニッシュ」ベースメイク～フルメイク相モデルレッスン(タイム取りなし) 「マニッシュ」ベースメイク～フルメイク相モデルレッスン(タイムトライ)
イメージメイク プリティ	40	「プリティ」形とイメージ、テクニックの展示説明 「プリティ」ベースメイク～フルメイク相モデルレッスン(タイム取りなし) 「プリティ」ベースメイク～フルメイク相モデルレッスン(タイムトライ50分)

具体的内容		
項目	時間	内容
確認テスト	6	「プリティ」ベースメイク～フルメイク 確認テスト(タイムトライ)
シーズンメイク (スプリング)	6	「スプリング」メイクにおけるイメージ説明、イメージしたデザイン画作成 「スプリング」メイク説明、デモ・相モデル実習、確認・チェック・修正
シーズンメイク (サマー)	6	「サマー」メイクにおけるイメージ説明、イメージしたデザイン画作成 「サマー」メイク説明、デモ・相モデル実習 確認・チェック・修正
シーズンメイク (オータム)	6	「オータム」メイクにおけるイメージ説明、イメージしたデザイン画作成 「オータム」メイクにおけるイメージ説明、イメージしたデザイン画作成 「オータム」メイク説明、デモ・相モデル実習 確認・チェック・修正
シーズンメイク (ウインター)	6	「ウインター」メイクにおけるイメージ説明 イメージしたデザイン画作成 「ウインター」メイク説明 デモ・相モデル実習 確認・チェック・修正
シーズンメイク	6	シーズンメイク(スプリング、サマー、オータム、ウインターメイク) 相モデル 確認テスト
シーズンメイク 強化	10	シーズンメイク(スプリング、サマー、オータム、ウインターメイク) 相モデル 確認テスト結果を受けての弱点強化
接客	6	接客の基本姿勢・身だしなみ・言葉遣い・態度・歩き方・お辞儀の仕方
カウンセリングメイク	15	年齢別カウンセリングの目的説明 タイプ別カウンセリング(ニーズの引き出し方、カウンセリングシート記入の仕方、視診、触診の仕方)
カウンセリングメイク 20代	6	20代に合わせたカウンセリングメイクアップのレッスン、商品販売シミュレーション
カウンセリングメイク 30代	12	30代に合わせたカウンセリングメイクアップのレッスン、商品販売シミュレーション
カウンセリングメイク 40代	6	40代に合わせたカウンセリングメイクアップのレッスン、商品販売シミュレーション
カウンセリングメイク 50代60代	6	5・60代に合わせたカウンセリングメイクアップのレッスン、商品販売シミュレーション
カウンセリングシミュレ ーション	24	接客シミュレーションレッスン(年齢設定自由) 接客シミュレーションレッスン(30代想定) 最終シミュレーションレッスン(年齢設定自由)※確認テスト
年代別メイク	72	・1990年代メイク 特徴説明(例:安室奈美恵) デモンストレーション 相モデル実習・確認、チェック、修正、化粧水～フルメイク ・1980年代メイク 特徴説明(例:今井美樹) デモンストレーション 相モデル実習・確認、チェック、修正、化粧水～フルメイク ・1960年代メイク 特徴説明(例:マリリン) デモンストレーション 相モデル実習・確認、チェック、修正、化粧水～フルメイク 確認テスト:1960年代化粧水～フルメイク ・1950年代メイク 特徴説明(例:オードリー) デモンストレーション 相モデル実習・確認、チェック、修正、化粧水～フルメイク 確認テスト:1950年代化粧水～フルメイク ・現在のトレンド 特徴説明デモンストレーション 相モデル実習・確認、チェック、修正、化粧水～フルメイク
宝塚男役メイク	36	・宝塚メイクにおける特徴説明映像鑑賞 ・宝塚男役メイクにおけるアイブロウ・アイシャドウ・アイライン・アイラッシュリップ・チークのデモ ・宝塚男役メイクにおけるベース・アイシャドウ・アイブロウ・アイライン・アイラッシュ・リップ・チークの相 モデル実習 確認・チェック修正 ・確認テスト ベース～フルメイク

## 成績

成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。
------------	---

基本情報			
講義名	メイク(ヘア基礎)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	30	0	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
美容部員・メイクアップアーティスト・美容師	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、百貨店・メイク専門店・美容室・ブライダルサロン等にて、美容部員・メイクアップアーティスト・美容師等のメイクに関する実務経験が3年以上あるものが当該授業を実施する。
授業内容	
授業概要	メイク技術だけでなく、そのメイクにあったヘアスタイルを表現できるヘアアレンジ技術を学ぶ。基本的な美容用具の使用方法、ヘアアレンジ・セット技術を身に付け習得できる内容の授業を実施する。
授業の到達目標	メイク技術だけでなく、メイクアップアーティストとして必要なヘアの技術を習得する。美容用具の使用方法、ヘアセット・スタイリングの基本的な知識、技術を修得することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
準備&道具説明	1	・教材配布、準備物確認・使用方法説明、授業の流れ説明、頭部の名称
一束	3	・一束のデモ、一束の集め方、ゴムの結び方、一束の実践 ・一束の実践、ゴールデンポイントに作成 ・弱点強化 ・確認テスト
三つ編み基本技術	2	・三つ編みのデモ・表編み、裏編み、スライス、三つ編みの実践(表、裏) ・編みこみのデモ・表編みこみ、裏編みこみ、実践
フィッシュボーン基本技術	2	・フィッシュボーンのレクチャー・表編み、裏編み、フィッシュボーンの実践
逆毛	1	・逆毛の説明・ボリュームの逆毛、繋げる逆毛、逆毛2種類のデモ、逆毛2種類の実践
ピン打ち	1	・ピンの止め方・ピンの使い方・ピンニング方向の理解、ピン打ちの実践
ヘアアレンジ	8	・スタイルの説明、スタイル作成のデモ、作成実践
サイド編み込み ハーフアップ	3	・スタイルの説明、スタイル作成のデモ、作成実践
サイドアップ	3	・スタイルの説明、スタイル作成のデモ、作成実践
ルーズアップ	3	・スタイルの説明、スタイル作成のデモ、作成実践 ・確認テスト20分
ツイストアップ	3	・スタイルの説明、スタイル作成のデモ、作成実践

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	エステ(エステ理論)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	120	66	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
エステティシャン	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、エステサロン等にて、エステティシャンとしてエステティックに関する実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	エステティックに必要な基礎的な知識・理論を学ぶ。エステの歴史や皮膚科学、栄養学、化粧品学、救急法、カウンセリング技術、サロンマネジメント等を学び技術や接客において実践的に活かせる知識を得られる授業を実施する。
授業の到達目標	エステティックの知識・理論を理解し、それをエステ技術や接客、サロンマネジメントにまで活かせるレベルに到達することを目標とする。また、取得資格としてAEA上級認定エステティシャン検定の筆記試験において合格レベルの知識の理解と習得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
はじめに	1	1学期の説明、検定の概要
エステティック概論	3	エステティックとは エステティックの歴史と現状 エステティックの展望の解説と板書 概論確認テスト
皮膚科学	12	皮膚の構造の解説と板書、 皮膚の生理機能、美しい肌のための解説と板書 肌の老化とケアの解説と板書 トラブル肌と皮膚疾患の解説と板書 皮膚科学研究発表 表皮、真皮、にきび、汗腺、肌タイプ ※グループ毎に発表 皮膚科学確認テスト
解剖生理学	15	人体のあらまし 細胞・組織・器官・免疫の解説と板書 骨格系、筋系の解説と板書 神経系、感覚器系の解説と板書 消化器系、呼吸器系の解説と板書 循環器系 血液の解説と板書 内分泌系、泌尿器系、生殖器系の解説と板書 解剖生理学の研究発表 筋系、消化器系、呼吸器系 循環器系、血液、内分泌系、泌尿器系 解剖学確認テスト
運動生理学	5	運動の必要性、筋肉・呼吸器・循環器と運動の解説と板書 代謝と運動、運動処方、運動の実際の解説と板書 運動生理学確認テスト
ボディ実技理論	9	ボディの組み立てについて、セルライトについての解説と板書 機器の選定、各機器の特徴・禁忌事項の解説と板書 ホームケアについて、食生活と運動のアドバイスにの解説と板書 ボディケアの組み立て、ホームケア、カウンセリングシートの記入方法について カウンセリングシート作成・組み立て・コース提案、ホームケアアドバイス 確認テスト
ボディ カウンセリング	5	項目の理解と原因の追究、アドバイスの確認 シート記入解説

具体的内容		
項目	時間	内容
心身生理学	5	脳神経の構造と働き ホメオスタシスの解説と板書 ストレス 心と肥満の関り スキントッチの効果の解説と板書 心身生理学確認テスト
サロンでの救急法	3	救急法の基礎知識、主な症状の手当と病気、主な事故・けがの手当の解説と板書 ※心肺蘇生法と止血法は実技で行う 救急法確認テスト
エステティック カウンセリング	3	エステティックカウンセリングとは エステティックカウンセリングの基本 カウンセリングの実施の解説と板書
フェイシャル実技理論	7	フェイシャルコース組み立てについて、化粧品を選定と機器の解説と板書 フェイシャルコース組み立てについて、カウンセリングシートの記入について 確認テスト フェイシャルコースの組み立て フェイシャルケア後のカウンセリング ホームケアアドバイス 確認テスト
栄養学	9	栄養学の基礎知識の解説と板書 「何をどう食べるか」を知るためのこの解説と板書 献立研究発表 にきび、便秘、乾燥、ダイエット、美白、若返り 栄養学確認テスト
化粧品学	7	化粧品の定義と役割、基礎化粧品 メイクアップ化粧品、ボディケア化粧品の解説と板書 化粧品の原料の解説と板書 基礎化粧品成分研究、POP作成 クレンジング、洗顔、化粧水、乳液、クリーム、下地 化粧品学確認テスト
エステティック 電気学・機器学	5	電気学の基礎 電気と人体の解説と板書 エステティック機器の種類と原理 エステティック機器の活用の解説と板書 電気学・機器学確認テスト
エステティック 関連法規	5	エステティック契約の関連法規の解説と板書 エステティシヤンの仕事と法律、クレーム処理と関連法規 エステティック業界の自主基準の解説と板書 関連法規確認テスト
サロンでの 衛生・消毒	5	公衆衛生、病原微生物 感染症、衛生・消毒の解説と板書 エステティックにおける消毒・滅菌の確認テスト
サロン マネジメント	4	エステティック業の倫理、エステティックビジネスの環境と展望 マーケティングの解説と板書 サロン運営、サロン繁栄のための顧客管理、サロン繁栄のための技術管理の解説と板書 マネジメント確認テスト
美容脱毛学	3	脱毛の原理について・毛の成長因子と衛生管理について レーザー脱毛について・レーザー脱毛の特徴と解説 ワックス脱毛について、ワックス脱毛の特徴と注意点の解説と板書 確認テスト
検定対策	8	センター試験問題集 解答と解説
カウンセリング フェイシャル	8	カウンセリングフェイシャルのアドバイスの確認 シート記入解説 相モデルでの実践
東洋・西洋セラピー	3	東洋西洋セラピーについて 東洋と西洋の違いの理解



具体的内容		
項目	時間	内容
カウンセリング ボディ	4	カウンセリングボディのアドバイスの確認 シート記入解説 相モデルでの実践
皮膚科学	4	AEA例題集に沿った解説 確認テスト
解剖生理学	4	AEA例題集に沿った解説 確認テスト
栄養学	4	AEA例題集に沿った解説 確認テスト
化粧品学	3	AEA例題集に沿った解説 確認テスト
心身生理学	3	AEA例題集に沿った解説 確認テスト
衛生消毒	3	AEA例題集に沿った解説 確認テスト
フェイシャル 実技理論	2	AEA例題集に沿った解説 確認テスト
ボディ 実技理論	2	AEA例題集に沿った解説 確認テスト
脱毛(ワックス脱毛)	1	AEA例題集に沿った解説 確認テスト
運動生理学	3	AEA例題集に沿った解説 確認テスト
電気学・機器学	3	AEA例題集に沿った解説 確認テスト
関連法規	2	AEA例題集に沿った解説 確認テスト
救急法	2	AEA例題集に沿った解説 確認テスト
概論	2	AEA例題集に沿った解説 確認テスト
東洋西洋セラピー	2	AEA例題集に沿った解説 確認テスト
カウンセリング	2	AEA例題集に沿った解説 確認テスト
マネジメント	2	AEA例題集に沿った解説 確認テスト
模擬試験	8	AEA模擬試験問題100問 実施・解答・解説
化粧品学	4	販売化粧品の理解 説明・効果説明 アプローチ法ロープレ
季節のスキンケア	2	サロン実習でお客様にアドバイスが出来るようになる 春夏秋冬のトラブルとお手入れ 確認テスト

成績

成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。
------------	---

基本情報			
講義名	エステ(フェイシャル)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	69	78	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
エステティシャン	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、エステサロン等にて、エステティシャンとしてエステティックに関する実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	フェイシャルエステティックにおける、カウンセリング技術や基本的なフェイシャルエステ技術、使用する機器の効果や安全な使用方法を学ぶ。
授業の到達目標	カウンセリング・化粧品・肌別の対応知識の理解と習得、使用する機器を正しく扱えること・その効果や安全に使用方法の理解を習得することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
ベットセッティング 使用化粧品説明	3	ベットセッティング,フェイシャルにおいての身だしなみ 使用化粧品説明
クレンジング スポンジ ホットタオル	9	ポイントクレンジング・クレンジングの注意点、手順、デモ、レッスン スポンジ・ホットタオルの取り扱い 注意点・手順・デモ・レッスン ポイントクレンジング時のコットンに含ませた粧材の量やコットンの取り扱い スポンジ、ホットタオルの手技 確認テスト
クレンジング 軽擦法	6	軽擦法のデモ・レッスン・チェック クレンジング～軽擦法行程を完全に覚える。 クレンジングの拭取りチェック 整肌の方法のデモ・レッスン・チェック
クレンジング 軽擦法 強擦法 揉捏法	3	クレンジング～軽擦法まで復習チェック 強擦法、揉捏法、打法のデモ・レッスン・チェック 揉捏法の圧を相モデルの腕で確認し合う
クレンジング 軽擦法 強擦法 揉捏法 打法 圧迫法 振動法 デコルテ	15	クレンジング～打法まで復習チェック 圧迫、振動法、デコルテ、背中でのデモ・レッスン・チェック 背中部分は教員が各モデルにデモを行い、相モデルで確認し合う デコルテ、背中のホットタオル拭取りのデモ・レッスン・チェック 確認テスト
カウンセリング ベット誘導 ポイントクレンジング クレンジング スポンジ ホットタオル	3	時間内でカウンセリングシートに書き込みしながらのカウンセリングを行う 重要項目の聴き取りと、肌質とトラブルの確認と記入 ご案内～クレンジング 相モデルカウンセリングレッスン(30分×2回)
クレンジング マッサージ パック	6	手技の理解と手順を覚えさせる クレンジング～拭取りまでのタイム取り クレンジングの拭取りチェックを行う パック粧材の説明 パック塗布の注意点、手順、デモ、レッスン、仕上がりチェック パックの拭取り注意点、手順、デモレッスン、拭取りチェック

具体的内容		
項目	時間	内容
クレンジング 洗顔 フリマトール ブラシ パック	3	効果と注意事項 洗顔の効果・成分説明 デモ、相モデルレッスン
吸引管 イオン導入・スチーマー	1	効果と注意事項等の説明 機械・ベントーゼの確認、使用方法
クレンジング 洗顔 吸引管(アルカリ水) パック	6	アルカリ水を使用し吸引を行う 吸引～洗顔デモ 相モデルレッスン 確認テスト
クレンジング マッサージ デコルテ	4	復習、手技のレベルアップ ポイントクレンジング～デコルテ
カウンセリング	4	肌別診断、ホームケアアドバイス、カウンセリング方法 確認テスト(クレンジング～カウンセリング)
クレンジング 軽擦法 強擦法 揉捏法 打法 振動法 デコルテ	8	復習 肌質に応じた手技・提案を行う カウンセリング～クレンジング～デコルテマッサージ・パックまで
口頭試問とカウンセリング	2	化粧品成分・マッサージ技法・肌の見分け方 相モデルで口頭試問とカウンセリングを行う
カウンセリング ベツト誘導 ポイントクレンジング クレンジング スポンジ ホットタオル マッサージ (検定対策)	12	時間内でカウンセリングシートに書き込みしながらのカウンセリング・タイム取り 検定に合わせた細かい手技の確認 ご案内～クレンジング 相モデルカウンセリングレッスン マッサージ、ふき取り
誘導～クレンジング ～カウンセリング 確認テスト	3	誘導～クレンジング・カウンセリング 確認テスト:誘導(5分)クレンジング(10分)カウンセリング(15分)
フェイシャル通し 誘導 クレンジング カウンセリング マッサージ パック 整肌・口頭試問 (検定対策)	10	目的:技術を止めずに口頭試問に答えてみる 相モデルレッスン(85分×2) 相モデル交代(10分) 相モデルで採点
イオン導入	3	イオン導入効果と注意事項 イオン導入準備デモ 相モデルレッスン
パター	3	パターの効果と注意事項、手技・機械の使用法確認 説明、デモ 相モデルレッスン ローションパック
イオン導入 パター	3	確認テスト

具体的内容		
項目	時間	内容
小顔	15	効果、注意事項の説明、手技の確認 施術筋肉、効果等の説明 小顔技術デモ、相モデルレッスン 小顔マッサージ確認テスト 事前確認、小顔技術、効果確認
酵素パック 吸引・パター イオン導入 クールパック	8	酵素パック説明・デモ・レッスン パター・クールパックレッスン 確認テスト
トータルレッスン	17	技術トータルレッスン クレンジング、ウツランプ <sup>®</sup> で肌を見て肌質を確認 洗顔 マッサージ&デコルテ 吸引管 イオン導入 相モデル交代 テスト課題のマッサージレッスン トータル技術レッスン 確認テスト・振り返り・弱点強化

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	エステ(ボディ)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	109	74	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
エステティシャン	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、エステサロン等にて、エステティシャンとしてエステティックに関する実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	ボディに対するエステティックにおける、カウンセリング技術や基本的なボディエステ技術、使用する機器の効果や安全な使用方法を学ぶ。 また、AEA上級認定エステティシャンの検定対策も授業の中で取り入れている。
授業の到達目標	カウンセリング・化粧品・肌別の対応知識の理解と習得、使用する機器を正しく扱えること・その効果や安全に使用方法の理解を習得することを目標とする。 AEA上級認定エステティシャンの検定合格レベルの技術の理解と習得。

具体的内容		
項目	時間	内容
エステの仕事の紹介 ハンドマッサージ ワゴンセッティングの説明	4	エステに対する興味付け マッサージの効果、追求の楽しさを教える(施術前後の比較) 環境整備 セッティングの写真参照 ベットのセッティング ターバンの結び方
下肢後面	20	ボディケアの流れと基本手技(6種類)の理解 ホットタオル拭取りデモ・レッスン・チェック ドレーピングのデモ・レッスン・チェック ボディマッサージ下肢後面のデモ・レッスン・チェック 下肢後面確認テスト
腰背部・肩・上腕	8	ターバンの巻き方(素早く(タイム取り)丁寧かつ綺麗に巻く) 手技の理解と手順を覚えさせる(センター試験実技を基に指導) ボディマッサージ腰背部・肩のデモ・レッスン・チェック ホットタオル拭取り、ドレーピング、ターバンの徹底 確認テスト
下肢前面	6	下肢全面の手技の理解と手順を覚える ボディマッサージ下肢前面のデモ・レッスン・チェック ホットタオル拭取り、ドレーピング、ターバンの徹底 確認テスト
上肢・腹部	6	上肢・腹部の手技の理解と手順を覚える ボディマッサージ上肢・腹部のデモ・レッスン・チェック ホットタオル拭取り、ドレーピング、ターバンの徹底 確認テスト
全身マッサージ	10	手順の復習 下肢後面→腰背部・肩→下肢前面→上腕→腹部のマッサージ ホットタオル拭取り、ドレーピング、ターバンの徹底、チェック 全身確認テスト
ボディ カウンセリング	6	お客様の状態を把握ができ、ボディチェックと筋肉チェックができる カウンセリング方法・肉質チェック方法、仕方デモ
カウンセリング 全身マッサージ	6	カウンセリングシートの作成を時間内でどこまで出来るか確認 カウンセリングシートの作成を時間内仕上げる
痩身マッサージ 下肢後面	6	下肢後面痩身マッサージの確認・施術前後のサイズ確認 足採寸・写真、下肢後面痩身マッサージデモ 相モデルレッスン

具体的内容		
項目	時間	内容
痩身マッサージ 腰部・背中	8	腰部・背中痩身マッサージ 確認・施術前後のサイズ確認 ウエスト採寸・上半身写真 腰部デモ、レッスン 背中デモ、レッスン、ふき取り含む 確認テスト
痩身マッサージ 脚前・腹部	8	脚前・腹部痩身マッサージ 確認・施術前後のサイズ確認 ウエスト採寸・上半身写真 脚前デモ、レッスン 腹部デモ、レッスン・ふき取り含む 確認テスト
痩身マッサージ全身	6	全身タイム取り 誘導、全身マッサージ、ふき取り 確認テスト
ワックス	2	ワックス脱毛の特色・注意事項、手順説明 ワックス脱毛実技
G5 下肢背面	6	G5の効果と注意事項の確認技術確認 テキストを用いて説明 G5デモンストレーション 下肢背面レッスン
G5 背部・上腕	7	G5背部・上腕レッスン 相モデルレッスン G5確認テスト
検定説明	1	教材確認・実習室説明 検定説明 口頭試問について説明
技術確認	3	検定の合格ラインと現状の把握 セッティング説明 カウンセリング～全身マッサージ
背面マッサージ (検定対策)	3	検定レベル技術レッスン 口頭試問に慣れる その都度個別指導・ふき取り含む
カウンセリング& 背面マッサージ &口頭試問確認 テスト (検定対策)	3	カウンセリング～背面確認テスト 口頭試問・タイム取りあり
下肢前面 上肢マッサージ 腹部 (検定対策)	3	下肢前面・上肢・腹部・デコルテの手技確認 下肢前面レッスン 上肢デモ、レッスン
カウンセリング& 前面下肢、上肢、 腹部デコルテ マッサージ&口頭試問 確認テスト (検定対策)	3	カウンセリング～全面下肢・上肢・腹部・デコルテ確認テスト 口頭試問・タイム取りあり
G5腹部	3	G5腹部レッスン(相モデル)
G5全身	3	G5背部・上腕レッスン
G5 全身確認テスト	4	全身タイム取り G5全身40分
カウンセリング 全身マッサージ (検定対策)	10	全身マッサージタイム取り 誘導、ふき取り(相モデル) カウンセリングシートの確認及び技術を止めずに口頭試問に答える

具体的内容		
項目	時間	内容
痩身マッサージ 全身	6	全身タイム取り 誘導、全身マッサージ、ふき取り、(相モデル)
低周波	6	低周波機械使用注意説明 全身の筋肉の理解とパッティングの説明 機械の操作とパットの設置デモ 相モデルレッスン
低周波・ヒートマット	3	ヒートマットの時間管理 相モデルレッスン 振り返り
低周波・痩身マッサージ	3	サロンに合わせたの複合メニュー検証及びレッスン ビフォーカウンセリング 相モデルレッスン
低周波+G5+痩身マッ サージ	8	サロンに合わせたの複合メニュー検証及びレッスン ビフォーカウンセリング 相モデルレッスン 確認テスト
ボディスキンケア	2	フリマトールの説明 注意事項と取り扱い説明(10分) 背中、デコルテデモ(10分×2) 相モデルレッスン(25分×2) 相モデル交代(10分)
痩身技術トータル	10	プランニングと結果の検証 計画書に沿った技術実施・写真撮り・採寸 施術後の変化と計画書との比較を記入したカルテ提出

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	エステ(アロマ)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	0	28	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
エステティシャン	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、エステサロン等にて、エステティシャンとしてエステティックに関する実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	アロマセラピーはエステにおいて身体をリラックスさせ、美と健康を増進しそれを身体・精神両面からアプローチできる自然療法です。エステティックにおいても現在、その効果から重要なものであり多く取り入れられていることから、当該授業でアロマセラピーの技術、知識を学ぶ。また、アロマセラピー検定1級の検定対策も授業の中で取り入れている。
授業の到達目標	アロマ理論の授業との連動も図りながら、アロマセラピーに関する香りの効果効能の理解とリラクゼーションを与える技術、知識を実践で活かせるレベルにまで到達させることを目標とする。また、取得資格としてアロマセラピー検定1級の合格レベルの知識の理解と習得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
アロマの基本	2	実践「フェイシャルスチーム」 スイートオレンジ ゼラニウム
精油	2	精油のこと 実践「吸引法」 ティトリー
アロマの安全性	4	アロマの安全性 実践「アロマスプレー」 フランキンセンス、ペパーミント、ユーカリ、ラベンダー
アロマセラピーの実践	2	アロマセラピーの実践 レモン・ローズホット・ローズabs・ローズマリー
精油プロフィール	2	アロマ2級の精油プロフィール 精油プロフィール確認テスト 実践「ボディオイル・バスソルト」
検定対策	2	問題集 検定対策実施 解答・解説
アロマメカニズム	3	アロマメカニズム レモングラス・レモン・グレープフルーツ
ビューティ&ヘルスケア	2	アロマセラピー&ビューティ&ヘルスケア サイプレス・サンダルウッド・カモミールジャーマン・カモミールローマン
歴史	2	アロマの歴史 ジャスミン・ジュニパー・スイートアレンジ・スイートマジョラム
アロマの法律	4	アロマに関する法律 ティトリー・ネロリ・パチュリ・メリッサ ブラックペッパー・ペチパ・ベルガモット・ベンゾイン・ミルク
検定対策	3	アロマ1級検定対策 60問 アロマの環境について、アロマの精油プロフィールについて

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。



基本情報			
講義名	エステ(ヘッドマッサージ)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	0	24	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
エステティシャン	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、エステサロン等にて、エステティシャンとしてエステティックに関する実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	エステティックにおけるヘッドマッサージ効果効能の知識を実技の中で習得できる授業を行う。ヘッドマッサージの手法や手順、頭皮に存在するツボの位置を実技の中から理論的にも技術的にも理解させる。
授業の到達目標	エステティックにおけるヘッドマッサージの効果効能とリラクゼーションを与える技術を理解し、現場でも活用できる技術にまで向上させることを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
ヘッドマッサージ理論	1	ヘッドマッサージ知識の確認
ヘッドマッサージ技術	9	ヘッドマッサージ技術のレッスン デモンストレーション 相モデルレッスン 相モデルレッスン・ツボ効果の確認
デコルテマッサージ	3	デコルテ技術のレッスン デモンストレーション 相モデルレッスン
ヘッド～デコルテ	11	ヘッド～デコルテの時間管理 相モデルレッスン 確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	ネイル(ネイル理論)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	6	3	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
ネイリスト	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、ネイルサロン等にて、ネイリストとしての実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	ネイリストとして必要なネイルの知識(歴史、爪の構造、手のマッサージ、色彩理論、ネイル技術)、ジェルネイルの知識を学ぶ。
授業の到達目標	ネイルに関する基礎的な知識、ジェルネイルの基礎知識等について理解することを目標とする。ネイリスト技能検定3級2級及びネイルサロン衛生管理士の試験に合格するレベルへの到達を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
2.3級検定対策	6	ネイルの歴史、爪の構造と働き 皮膚、生理解剖Ⅰ・Ⅱ マッサージ理論・ツボ理解 確認テスト 病気・消毒 化粧品学・色彩理論 技術体系、ケア手順、確認テスト
ジェル	3	ジェルネイル概論、用具用材、技術体系、ジェルネイルの衛生管理 ジェルネイル材料の基礎理論 ジェルネイルの安全な施術とトラブル防止 確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	ネイル(ケアカラー)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	174	0	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
ネイリスト	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、ネイルサロン等にて、ネイリストとしての実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	ネイリストとして基本的な技術であるケアカラーについて学ぶ。用具の種類や使用方法、消毒法から爪の形を作るファイリング、爪のケア技術、ポリッシュの塗布技術を相モデル等にて実践的に学ぶことができる。ネイリスト技能検定3級2級の対策も行う。
授業の到達目標	ネイルに関するケアについての技術の習得と理論の理解、ポリッシュ塗布技術習得と理解、ネイリスト技能検定3級2級合格レベルへの到達を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
概要	6	道具のセッティング (ラベルシール・名前シール)(破損・過剰確認、種類・用途・維持方法・注意点) 3級検定概要 (手順)
マッサージ	1	マッサージ 手順説明 ツボ理解
消毒	2	手指消毒 ファイリング(チップ使用) 使用方法、持ち方、動かし方、爪の形と種類(教科書)、ラウンドの取り方
ケア	18	ファイリング(ハンド使用)【デモ】 ハンド、チップカッター使用方法、指の支え方、バリの取り方 確認テスト 爪の形の削り方 (ハンド使用) オーバル・ポイントプッシャー(ハンド使用)【デモ】 使用方法、持ち方、支え方、動かし方 手指消毒～ファイリング～プッシャーの流れ(自爪) ニッパー(ハンド使用)【デモ】 使用方法、持ち方、支え方、ガーゼの巻き方、動かし方 プッシャー～ニッパーの流れ実践(自爪) 手指消毒～ファイリング～プッシャー～ニッパー～油分除去の流れ実践(相モデル) 確認テスト ケアトータル(相モデル)
アート	6	アート(紙使用) 描き方(バランス・色彩) アート(紙使用) 使用方法(絵具・筆・ガラスボウル・パレット) 筆の動かし方 確認テスト(ハンド使用)
ポリッシュ	12	赤ポリッシュカラーリング(クリアファイル使用) 【デモ】紙・クリアファイルを用いる 使用方法、持ち方、ハケの状態、塗る手順、支え方、スキндаウン、修正、オフ 赤ポリッシュカラーリング(相モデル) ラインどり、表面 確認テストケア 復習手指消毒～ファイリング～プッシャー～ニッパー～油分除去の流れ(相モデル)

具体的内容		
項目	時間	内容
ケアカラー	33	ケア復習 ケアカラートータル 検定模擬試験 筆記試験、実技試験(相モデル) 確認テスト
チップラップ	27	工程確認デモ(相モデル) 確認テスト
ポリッシュ (2級検定色)	25	ポリッシュ 2級検定色(ピンク) デモンストレーション 相モデルレッスン 確認テスト 弱点強化
トータル技術	18	トータル(ケアカラー)技術(相モデル) フィードバック、弱点強化
2級筆記対策	2	過去問実施 解答・解説
ケアカラー チップラップ 検定対策	24	ケアカラーチップラップ検定同様トータル (ピンクポリッシュ) 相モデルで実践 タイム強化 2級筆記対策

成績

成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。
------------	---

基本情報			
講義名	ネイル(ジェル)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	0	136	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
ネイリスト	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、ネイルサロン等にて、ネイリストとしての実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	ネイリストとして必要なジェルネイルの技術・理論について学ぶ。ジェルネイル技能検定の初級から上級までの対策も行き、用具・用材・機器の使用方法から基礎知識技術から学び、モデルに応じたバランスまで考えられるような技術者になれるよう授業を行う。
授業の到達目標	ジェルアートの基礎知識の理解・スムーズな除去方法の理解と技術・色々な筆の使い分け・モデルに応じたバランスがとれる技術の習得を目標とする。 ジェルネイル技能検定上級の資格試験合格レベルに到達することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
ジェル初級検定	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セッティング(ラベルシール)</li> <li>・道具(破損・過剰確認、種類・用途・維持方法・注意点・使用方法)</li> <li>・検定概要(手順)</li> <li>・赤ジェル【デモ】(クリアファイル、相モデル)</li> <li>持ち方、支え、動かし方、サンディング、ダストオフ、油分除去、ピーコック除去の仕方</li> <li>確認テスト</li> <li>・トータル練習(相モデル)</li> <li>・本番シミュレーション</li> </ul>
ジェル	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェルアート(相モデル)</li> </ul>
ジェル中級検定	71	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラデーション クリアファイル→ハンド→自爪→相モデル</li> <li>・グラデーショントップジェルまで通し(相モデル) 確認テスト</li> <li>・フレンチ バランス・ライン取り クリアファイル→ハンド→自爪→相モデル</li> <li>・フレンチ トップジェルまで通し(相モデル) 確認テスト</li> <li>・フォームのかけ方(種類 切り方 角度、相モデル)</li> <li>・ジェルスカルプチュア フリーエッジ クリアファイル→ハンド→自爪</li> <li>・ジェルスカルプチュア 削り、仕上げ クリアファイル→ハンド→自爪</li> <li>・ジェルスカルプチュア(相モデル) 確認テスト</li> <li>・ジェル中級内容 手順確認 本番シミュレーション 確認テスト</li> </ul>
サロン実践アート	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アニマル</li> <li>・ストライプ・ボーダー</li> <li>・チェック・ツイード</li> <li>・マーブル・タイダイ</li> <li>・デニム・スポンジ</li> <li>・たらし込みフラワー</li> <li>・ストーン・ホロ・シールの使い方</li> </ul>

具体的内容		
項目	時間	内容
実践アート	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレンドアート(相モデル)</li> <li>相手の要望を踏まえトレンドを取り入れ提案</li> <li>手指消毒、プレパレーション、ジェルアート、トップジェル</li> </ul>
ジェル上級検定	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェルスカルプチュア</li> <li>アプリケーション(ハンド)(相モデル)</li> <li>ファイリング(ハンド)(相モデル)</li> <li>確認テスト(相モデル)</li> <li>・チップオーバーレイ フレンチ</li> <li>フレンチ(ハンド)(相モデル)</li> <li>確認テスト(相モデル)</li> <li>・チップオーバーレイ フラワー</li> <li>フラワー(ハンド)(相モデル)</li> <li>確認テスト(相モデル)</li> <li>・ジェル上級内容</li> <li>本番シミュレーション</li> <li>確認テスト</li> </ul>
成績		
成績評価の方法・基準		出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	ネイル(フット)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	15	0	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
ネイリスト	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、ネイルサロン等にて、ネイリストとしての実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	フットへのネイル技術について学ぶ。爪のケア・カラーだけでなく足部の角質ケアも行い、実際に相モデルになって実践的な授業を行い技術を向上させる。
授業の到達目標	フットのケア・カラーについての基礎技術を習得することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
基礎知識	1	・フット基礎知識(セッティング、メンテナンス、消毒法、座り方、姿勢)
スクラブ・トリートメント	2	・角質、ビューティーフット(相モデル)
マシンケア	6	・フットのマシンケア、マシン角質
フットケアカラー	6	・ケアカラー※ピンクカラー(相モデル) ・確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	ネイル(スカルプチュア)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	0	27	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
ネイリスト	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、ネイルサロン等にて、ネイリストとしての実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	ネイリストとして必要なスカルプチュア(爪の延長・補強等)の理論・技術を学ぶ。基礎知識や理論、技術を学び、ネイルアーについても筆使いから作品作成まで当該授業にて行う。
授業の到達目標	スカルプチュア技術に関する基礎知識、フォームの種類を理解、スカルプチュアに適した筆使いの習得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
理論・基礎知識	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>スカルプチュア理論、基礎知識復習</li> <li>ミクスチュア取り方実践</li> <li>筆の使い方実践(クリアファイル)</li> </ul>
スカルプチュア技術	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリパレーション、クリアフローター、ファイリング(自爪)</li> <li>フリーエッジ作成(スクエアオフ5~1cm)クリアファイル</li> <li>フォームのかけ方(ハンド)</li> <li>1~3ボール作成(スクエアオフ)ハンド、ピンチング</li> <li>ファイリング(スクエアオフ)1~3ボール作成ハンド</li> <li>長さ形・表面の削り方</li> <li>フォーム(切り方・かけ方・角度) 相モデル</li> <li>ナチュラルスカルプチュア(スクエアオフ)テスト</li> </ul>

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。



基本情報			
講義名	ネイル(アート)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	30	30	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
ネイリスト	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、ネイルサロン等にて、ネイリストとしての実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	ネイルに関するデザインを様々な題材を用意し学び、その学びを活かし自分の思い描くデザインを具現化できるよう、ネイルチップの作成や相モデル等での練習を繰り返し行い、ネイルデザインに関する技術・知識を習得できる授業を実施する。
授業の到達目標	用意したテーマのデザインを忠実に作成できる、自分の思い描くデザインを具現化できる、現場レベルで通用するネイルアートができるレベルへの到達を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
花アート	2	花のネイルチップの作成(5本) デモンストレーション 実践レッスン
たらしこみアート	2	たらしこみアートのネイルチップの作成(5本) デモンストレーション 実践レッスン
チェックアート	2	チェック柄ネイルのネイルチップ作成(5本) デモンストレーション 実践レッスン
トレンドアート	6	トレンドアート(相モデル) 手指消毒、プレパレーション ジェルアート トップジェル
アニマルアート	2	アニマルアートのネイルチップ作成(5本) デモンストレーション 実践レッスン
ツイードアート	2	ツイード柄のネイルチップ作成(5本) デモンストレーション 実践レッスン
冬アート	2	冬アートのネイルチップ作成(5本) 雪、結晶 デモンストレーション 実践レッスン
実践アート	12	ケア+トレンドアート(相モデル) 復習 確認テスト 弱点強化
グラデーション ピーコック	2	グラデーション・ピーコックのネイルチップ作成(5本) デモンストレーション 実践レッスン
ストライプ・ボーダー	2	ストライプ・ボーダーのネイルチップ作成(5本) デモンストレーション 実践レッスン
ストーンの使い方	2	ストーン・ホロ・シールの使い方、ネイルチップ作成(5本) デモンストレーション 実践レッスン

具体的内容		
項目	時間	内容
べっ甲	2	べっ甲アートのネイルチップ作成(5本) デモンストレーション 実践レッスン
逆フレンチ	2	逆フレンチのネイルチップ作成(5本) デモンストレーション 実践レッスン
トータルアート	6	これまでの技術を使用しアートチップ作成(5本) 手指消毒、プレパレーション15分 ジェルアート トップジェル
トレンドアート	6	トレンドアート 手指消毒、プレパレーション15分 ジェルアート トップジェル
サロン実践 アート	6	べっ甲アート5本チップ作成 逆フレンチ5本チップ作成 トータル5本チップ作成
実践アート	2	確認テスト(相モデル) 手指消毒、プレパレーション、ジェルアート、トップジェル

## 成績

成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。
------------	---

基本情報			
講義名	実践(サロン実習)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実習	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	55	225	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	実際にお客様への接客や、技術提供をすることで実践的な経験を積むことができる。また、単体で動くのではなく、組織として役割を持ちその中でどう動くのかを自ら考える力を本授業で学び向上させていく。
授業の到達目標	卒業後、就職先にて即戦力として働ける接客力・技術力を身に付けること、店舗の運営に関する理解することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
職業理解	2	職業理解と習得スキルの理解 職業説明
サロン実習概要	2	サロン実習概要
サロン運営	2	サロンワークの流れの理解
サロンカウンセリング	6	カウンセリングレッスン、解説 相モデルレッスン、フィードバック
アフターカウンセリング	6	アフターカウンセリングレッスン、説明 相モデルレッスン フィードバック
模擬練習	6	サロン実習の模擬練習、説明 来校→カウンセリング→サロン案内→アフターカウンセリング→お帰り フィードバック
サロン練習	10	・サロンワークレッスン 身だしなみ・お辞儀の仕方 椅子へのご案内・エレベータ案内  ・サロンの流れを把握する 予約表の理解と記入方法 受付表の理解と記入のご案内
サロンでの流れ	6	・サロンの流れを理解する 1日の流れを身に付ける
模擬練習	9	・サロン実習の模擬練習、説明 来校→カウンセリング→サロン案内→お茶だし→アフターカウンセリング→お帰り フィードバック
カウンセリング クロージング 練習	6	・カウンセリング、クロージングの重要性を理解する 相モデルでカウンセリング クロージングを行う
サロン実習概要	2	・サロン実習概要説明 目的・目標・具体的行動
サロン運営	8	・具体的数字やサロンワークの流れの理解と対策 実際にクラス・グループ・個人数字を自分で算出  ・前年度のお客さま分析 見込めるリピートのお客さまの数字と金額を分析する  ・具体的数字やサロンワークの流れの理解と対策 集客とリピート 集客方法の話し合いと実行  ・売上目標・集客計画書の発表

具体的内容		
項目	時間	内容
サロン準備	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンワークレッスン 受付表などの理解と記入レッスン</li> <li>・電話対応レッスン、解説 相モデルレッスン</li> <li>・導線確認、解説 相モデルレッスン 来校～サロン～お帰り フィードバック</li> <li>・カウンセリングレッスン、解説 相モデルレッスン フィードバック</li> </ul>
模擬練習	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン実習の模擬練習、説明 相モデルレッスン 電話→来校→カウンセリング→サロン案内→アフターカウンセリング→お帰り フィードバック</li> </ul>
カウンセリング	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンセリング確認テスト 電話→来校→カウンセリング→サロン案内→アフターカウンセリング→お帰り フィードバック</li> </ul>
開店に向け	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店長・副店長・サロンリーダー・各役割発表 現状予約数の発表</li> </ul>
サロン準備	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に応じた提案と対策 実行する為の準備物作成 POP チラシ</li> <li>・サロン備品準備</li> </ul>
サロン実習	42	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営の仕組みの理解、数字への意識</li> <li>・お客様への気配り、接客力</li> <li>・振り返り、レポート作成等</li> </ul>
アプローチ	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案力の向上 相モデルレッスン</li> </ul>
サロン実習	42	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営の仕組みの理解、数字への意識</li> <li>・お客様への気配り、接客力</li> <li>・振り返り、レポート作成等</li> </ul>
サロン 改善・振り返り	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の振り返りと改善 現状のお客様の来店ペースの把握 リピーターになっていないお客様の理由調査</li> </ul>
3学期 対策ミーティング	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状把握と対策 目標と実績の把握 現状の予約数と対策と実行</li> </ul>
サロン準備	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案力の向上 相モデルレッスン(30分×2) 情報共有として物販の発表(30分)</li> </ul>
サロン実習	42	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営の仕組みの理解、数字への意識</li> <li>・お客様への気配り、接客力</li> <li>・振り返り、レポート作成等</li> </ul>
サロン 改善・振り返り	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リピーターを作るために 現状のお客様の来店ペースの把握</li> </ul>
サロン準備	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案と対策 実行する為の準備物作成 POP チラシ トーク作成</li> </ul>
サロン実習	42	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営の仕組みの理解、数字への意識</li> <li>・お客様への気配り、接客力</li> <li>・振り返り、レポート作成等</li> </ul>
サロン 改善・振り返り	5	結果報告、カルテ整理、DMリスト出し

## 成績

成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。
------------	---

基本情報			
講義名	HR	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	
	232	243	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒間のコミュニケーション向上。</li> <li>・コンプライアンスや一般常識、社会の危険知識を身に付ける。</li> <li>・イベントを通して美容の面白さや、多くの人との関わり合い・協調性を身に付ける。</li> </ul>
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生生活での一般常識や守らなければならないこと、チームで力を合わせ取り組む姿勢、社会に出てからの一般常識や危険性の知識習得を目標とする。</li> </ul>

具体的内容		
項目	時間数	内容
リーダー任命式・セミナー	12	・生徒間コミュニケーション向上、学校ルール
ベルコレ	19	・作品の製作、技術訓練、発表
防災対策	18	・消防署からのアドバイス、訓練、災害種別による避難
防犯対策	22	・犯罪被害予防、不審者、不審物、ストーカー被害
薬物乱用	12	・薬物の危険及び影響、薬物や有機溶剤及び医薬品の乱用
コンプライアンス	12	・コンプライアンスの意味、法令に係る道徳や倫理
社会貢献	32	・地域活動、地域行事参加
人権	12	・人権の意味、一般的に侵害されやすい事柄
交通法規	12	・歩行者側、自転車側、自動車側、交通法規の遵守
知的財産	12	・身近にある知的財産権、知的財産の種類
個人情報保護	12	・個人情報、個人識別符号の種類、個人情報の取扱
情報セキュリティ	12	・パソコンやデータ保存機器類の取扱、重要な情報への対策
マナー	12	・言葉遣い、服装、電話応対、来客対応
ビジネス文書	4	・挨拶文、宛名の書き方、メール
SNS	38	・フェイスブック、ツイッター、インスタグラム、LINE、の特徴や危険性、対処
冠婚葬祭	6	・慶事、弔事、贈答
仕事・組織	8	・チームでの仕事、仕事の進め方
職場生活	8	・整理整頓、勤務態度行動
社内外トラブル	12	・起こりうるトラブル
個別弱点強化	121	・個々の苦手科目強化及び指導
進路相談	22	・希望就職先、職種類
特別講習	29	・卒業生やサロン 企業従事者による講義
ハラスメント	18	・セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、具体例、防止、復習
コミュニケーション	10	・社会人・組織のコミュニケーション

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	マナー	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	
	34	40	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくための必要なマナー・スキル・人間力を取得させる
授業の到達目標	卒業後、業界・就職先にて技術だけでなく、接客のプロとして即戦力で活躍できる人材に育成することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間数	内容
主体性 I	4	定義(物事に進んで取り組む力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
主体性 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
実行力 I	4	定義(目的を設定し確実に行動する力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
実行力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
柔軟性 I	3	定義(意見の違いや立場の違いを理解する力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
柔軟性 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
課題発見力 I	4	定義(現状を分析し目的や課題を明らかにする力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
課題発見力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
ストレスコントロール力 I	4	定義(ストレスの発生源に対処する力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
ストレスコントロール力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
創造力 I	3	定義(新しい価値を生み出す力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
創造力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
挨拶	2	あいさつをする理由 あいさつの順序 あいさつの言葉と注意事項 実践訓練
時間管理	2	「時間を守ることは、信用を守ること」の意味
礼節	2	礼儀を学ぶ意義 礼儀とは 礼の仕方と目的
話し方・聞き方	4	好印象を与えるための正しい聞き方 傾聴 好印象を与えるための正しい話し方
健康管理	2	プロとは、自分の最大限の能力を発揮できるよう、常に体調面と精神面を重要視し、またケアしている人である。

具体的内容		
項目	時間数	内容
携帯電話の使い方	2	ソーシャルメディアの種類(代表的なもの) SNSでのトラブルの原因 利用上の注意点
5S	2	5Sとは(整理・整頓・清潔・清掃・躰)「片づけは、雑務じゃない」ことを知る 確認テスト
電話対応	3	電話対応時の声の出し方 電話対応に使う敬語 電話対応でよく使う尊敬語・謙譲語・丁寧語 実践訓練
名刺	2	名刺交換のマナー 名刺交換の順番
手紙の書き方	2	縦書きの手紙のマナー 横書きの手紙のマナー
冠婚葬祭	1	冠婚葬祭の決まり事(冠について、婚について、葬について、祭について、慶事、弔事について)
食事・テーブルマナー	2	テーブルマナーの基本 食事のマナー違反
飲酒・喫煙マナー	2	お酒の上手な断り方をマスターしよう 身体的、精神面への影響 喫煙者のマナー
報告・連絡・相談	2	「報告」、「連絡」、「相談」の違い 正しく伝える「報・連・相」の実践ポイント
人間関係	4	職場・組織での人間関係 自分に価値を持つ 友達と同僚のけじめ、他人と比較しない 確認テスト
<b>成績</b>		
成績評価の方法・基準		出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	就職	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	71	13	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	希望する就職先に入る為の就職活動をする上での対策・マナーの学習はもちろんのこと、自分の将来を考えた上での企業の選定方法や選定する上で気を付けなければならないことを学ぶ。
授業の到達目標	生徒が持っている将来像をはっきりとしたものにさせ、その将来像を目指すにあたっての企業選定や、就職活動をする上での対策やマナー等を習得させ、より良い就職をさせることを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
就職概要	2	美容業界の仕事・職種について
業界セミナー	2	教員による業界セミナー 業界や職種について、メイク・エステ・ネイルそれぞれの各専任講師より体験談を話し、職種に対する理解を深める。
就職活動の流れ	2	就職活動の流れ 各コース毎の就職活動スケジュールを説明し、適切な時期に活動ができるようにする。
インターン・アルバイト	2	インターンシップ・アルバイトに参加する意義を説明し、積極的な参加を促す。 インターンシップ・アルバイトに参加する上でのルールを知り、参加時に備える。
キャリアプランニング	4	キャリアプランニングとは、キャリアプランニングシートを書く 自己分析について
企業研究	4	企業研究とは、企業研究の目的・方法、企業研究シートの作成
OB・OGセミナー	2	卒業2年以上の卒業生を招聘し【業界の魅力】についての講義
求人情報	2	マイナビ、リクナビ、サポート説明
求人票の見方	4	求人の見方 福利厚生、見るべきポイント
応募書類の書き方①	13	応募書類の種類を学ぶ。 履歴書・添え状・封筒の書き方を学ぶ。 文章構成の方法について学ぶ。 自己分析、自己PR 在学中に最も力を入れたこと 志望動機  自己PR作成シート及び志望動機作成シートの完成 仮想志望企業を決定し実際に履歴書を作成してみる
面接①	15	面接官の視点とポイント、面接シミュレーション、面接でよくある質問を確認 集団面接の模擬面接を実施
OB・OGセミナー	6	就職に向けた話をしてもらい、自身の就職活動経験 各コースで実施(2)各業界で求められる人間性、スキルについて
キャリアプランニング	3	キャリアプランニングについて キャリアプランニングシートを書く(自己分析含む)
応募書類の書き方②	8	志望企業を決定し実際に履歴書を作成してみる (自己PR作成シート及び志望動機作成シートを改めて作成する)
面接②	9	集団面接の模擬面接を実施
フォローアップ	3	内定先企業について調べプレゼンを行う
卒業前教育	3	社会人としての意識を再確認する

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。



基本情報			
講義名	1年生研修	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	
	30	0	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	新しく入学してきた生徒に対し、学校生活の基本及びクラスメイト、教員との「絆」づくりをテーマとする。
授業の到達目標	「絆」づくり＝「居場所」づくりを行い、学校生活の楽しさを理解させ退学者低減目標とする

具体的内容		
項目	時間数	内容
自己紹介・教材配布・年間学校スケジュール	6	1人2分で自己紹介を実施 教材の配布、及び使用計画の説明 行事中心に「行事」「検定」「試験」等の目的と到達目標の説明
学校規則・ルール・掃除方法レクチャー	6	学校生活の基本となる、規則・ルールの理解。 接客サービス業内での「掃除」の重要性を指導
業界セミナー・夢シート発表	6	業界の動向、求められる人材などの説明 自身の「夢」の発表
コミュニケーション	6	各グループ毎に、「アクティビティ」を実行。コミュニケーションを深める
挨拶訓練・指導	6	自身の挨拶と、求める挨拶の違いを知る。 目指す「挨拶」の指導→訓練→指導を繰り返す

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。